

支え、支えられ

5

田中大喜さんの場合

職場 しんわルネッサンス
(進和学園/神奈川県平塚市)
職場での呼び名 たなかさん
勤続年数 四年



写真左から2番目が田中さん

ほんとのところは、わからない

平塚は、地元です。専門学校に行つて東京で保育の仕事をちよつとしていました。でも、ほんとに子どもが大好きじゃないと大変で…。学校の先生に相談して、ここで働くことになりました。特殊な業界ですよ。進和学園は、うち以外にも施設があるんですけど、いちばんここが外の社会に近いと言つか。自分としては、介護より、働く、就労支援に興味を持ちました。最初の一年半は事務の仕事。産休の人が戻つてきて、支援にまわりました。いまも午前中は事務で、午後は支援の仕事をしています。担当は、ホンダの自動車部品の組み立て。部品ごとにラインが分かれていて、きちんと取り付けられているか、検査します。障害のある人だけで取り付けも検査もする、職員がいないラインもあります。

ここは養護学校を卒業してすぐ入ってくる子も多くて。最初、トイレに五時間くらいこもっちゃっ子がいました。作業中も全然しゃべらなかつた。やりたく

ないのが、ほんとにお腹が痛かつたのか…。いろいろ考えましたね。でも結局家で朝トイレに行くようにしてもらったら、大丈夫になつたんですが。原因がわかることの方が少ない。いろんな可能性があつて、本人が言うことも違つたりする。それを考えていくのが、おもしろいです。

最近、その子がすごい笑つようになりました。「ぼく、三年間で成長しちゃつた」って。それが自分が支援した結果なのか、ほんとのところはわからない。そうだったら、うれしいんですけどね。

ほとんど何もできないような状態だった子たちが、成長していく。思つて以上の、みんな、よく考えたり、自分の意思を持つてる。考えてなさそうに見える、誰も気づかないようなミスを発見したりする。

前は自分、ちゃらんぼらんな感じでしたけど、みんなの模範じゃないですけど、しっかりしなきゃって思うようになりました。